



てらうる



2020年
1月
No.865

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト■ <http://www.jelc.or.jp>
■E-mail■ jelc@jelc.or.jp

■発行人■ 李明生 koho@jelc.or.jp
■印刷人■ 精文堂印刷株式会社
■定価■ 1部40円 (郵税を含む)
■振替口座■ 00190-7-1734

説教 「揺らぎつつ信じる信仰」

「さく、十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示しておかれた山に登った。そしてイエスに会い、ひれ伏した。しかし、疑う者もいた。イエスは、近寄りて来て言われた、『わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終りまで、いつもあなたと共にいる。』」(マタイによる福音書 28:16-20)

日本福音ルーテル小岩教会牧師 松田繁雄



「洗礼を授け」《命じておいたことをすべて守るよう》に教えなさい」と命ぜられた時、「信仰とは、望んでいる事柄を確認し、見えない事実を確認する」というヘブライ人への手紙II章の冒頭の言葉が実現します。ここでの「見えない事実」、それは主イエスの与えられた、天地一切の権威、また、主イエスは《世の終りまでいつも共にいる》という事柄をもって、望みつつも確信する信仰、揺らぎつつも信じる信仰へと彼らを導いてくれているのです。その信仰が「躊躇い」を含むものであるからこそ、それは、長い歴史を隔てた私たちの心にも共鳴し、波紋を広げ、やがて、望み、確認し、そして救いに至らせる力を持つのです。

②②「何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。」(ヨハネの手紙第二5:14)

冬になると、毎朝学校近くの自動販売機で温かい飲料を買ってしまいます。「今日は甘いミルクティーにしよう」と思い150円入れてボタンを押し、ガコッという音と共に出てきたのは、なんと緑茶でした。えっ？と目を疑いながらペットボトルに触ると、更に残酷なことに冷たい緑茶だったのです。こんなにも寒い朝、よりによって冷たい緑茶とは！と打ちひしがれるのと同時に、ふと、わたしの祈りもこの出来事のようにだったかもしれない、と思えました。欲しいものを願えば当然のように神様に与えてもらえるだろう、と祈っていたのです。思っていたものと違うものが自販機から出てきて、うろたえたことで初めて自分の弱さや、小ささに気づかれました。わたしたちの神様は温かいミルクティーを求めている人に冷たい緑茶を与える自由をお持ちです。また、お金を入れず求めることももしない人にも与えることがおできになる方なのです。

ケセン語訳聖書を執筆した山浦玄嗣さんは新約聖書に出てくる「祈り」という言葉の意味を次のように解説します。それは「願う」「賛美する」「感謝が約3割、あとの約7割が「祈る」で「神様の言葉を聞く」という意味ではないか、と語っています。つまり聞かない神様の言葉を聞くことこそが本来の祈りだ、と。そしてそれは自分の身の回りに起きている出来事であらわれるというのです。

新年にあたり、各教会では、今年の宣教方針を考え、練っている事と思われまます。その際、主イエスは揺らぎつつ信じる弟子たちを選び、あの宣敎命令を下された、その事実をも覚えていてほしいと思います。そして、弱い私たちにこそ、その命令を受け継がれている事を信じつつ、現在の各教会をめぐる、厳しい状況へと、また一歩踏み出していければ、と思うのです。

仰だつた、とも言えますが、主イエスは、その彼らを宣敎へと派遣して行くのです。彼らが持つている現世への拘り、その部分は弱さでもあるのですが、同時に、そこがなければ宣敎も空しいと言えざる程、重要な何かでもあるのです。そもそも、信仰というのは、神の与えたもうもの、という視点も、ここで重要になります。強固な信仰も、ぐらついた信仰も、神が与えてくださった信仰という意味では、優劣がないという事です。私たちの周囲に居る人々を考えてみても、強い人も居れば弱い人も居ます。そういう多種多様な人間たちに語りかける教会は、それなりの柔軟性、多様性を持つていなければならぬのです。

そこで主イエスは、揺れ動く弟子たちに一つの方向性を与えられます。すなわち、天と地一切の権威を持つて、《あなたがたは行って、すべての民を弟子となさい》と言われるのです。《父と子と聖霊の名によつ



DUCCIO di Buoninsegna
Appearance of the Mountain in Galilee
Museo dell'Opera del Duomo, Siena

マタイ福音書巻末の宣敎命令へと続く段落の中で、《主イエスに会い、ひれ伏した。しかし、疑う者もいた》と書かれている事に、昔から興味をひかれて来ましたが、ここに集まっている者は、裏切つたユダを除いて、十一人の主だつた弟子たちです。その誰が、「疑う者」なのか、最初の関心は、その様なものだつた気がしますが、ところが、神学校に入り、ギリシヤ語の勉強をし、改めてこの部分を自分なりに読み直してみると、どうして、「彼らはひれ伏

らかに、「疑う」という意味を持つてきます。しかし、旧約聖書のギリシヤ語訳(七十人訳)では、この語はむしろ「躊躇い」という意味で用いられています。この七十人訳聖書では、「疑う」の訳には、また別の語が使われており、はつきり区別されているのです。ま

た、古典ギリシヤ語の用例で見ると、原義は「2つの世界に立ち、決めかねている心の状態」なのですが、発展して、優柔不断が、発展して、優柔不断が、揺れ動く心、ためらう、などと訳されています。つまり、「疑う」とはつきり訳せるような例は、紀元1世紀までは皆無です。それで、1世紀末に使用されたマタイ福音書のこの二つの箇所についても単純に「疑う」と訳すわけには行かなくなりまます。

以上、弟子たち全部が「疑つていた」かもしれない、また、この「疑う」という訳は本当にそれで良いのだろうか、という二つの視点がでてきました。これらを考慮に入れ、改めてこの16節を、私なりに解釈し直してみると、「弟子たちは主イエスを見て、ひれ伏し礼拝した。しかし、同時に彼らは、揺れ動いていた」となるでしょう。弟子たちは、信仰の世界へと入ろうとしつつ、まだこの現実世界に重心を残しているのです。中途半端な信

てらうる 第27回 春のteensキャンプ
イエス様は「いつメン」
3/24~3/26 @千葉市少年自然の家
主催:日本福音ルーテル教会宣教室TNG-Teens部門
北海道特別教区、東教区、東海教区、西教区、九州教区
協賛:日本福音ルーテル社団



冬になると、毎朝学校近くの自動販売機で温かい飲料を買ってしまいます。「今日は甘いミルクティーにしよう」と思い150円入れてボタンを押し、ガコッという音と共に出てきたのは、なんと緑茶でした。えっ？と目を疑いながらペットボトルに触ると、更に残酷なことに冷たい緑茶だったのです。こんなにも寒い朝、よりによって冷たい緑茶とは！と打ちひしがれるのと同時に、ふと、わたしの祈りもこの出来事のようにだったかもしれない、と思えました。欲しいものを願えば当然のように神様に与えてもらえるだろう、と祈っていたのです。思っていたものと違うものが自販機から出てきて、うろたえたことで初めて自分の弱さや、小ささに気づかれました。わたしたちの神様は温かいミルクティーを求めている人に冷たい緑茶を与える自由をお持ちです。また、お金を入れず求めることももしない人にも与えることがおできになる方なのです。



議長室から 大塚 謙治

『の息子は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったからだ。』

そして、祝宴を始めた。ルカ15・24

新年おめでとうございます。今年もみ言葉の光の中に新しい二歩を一緒に踏み出

してまいりましょう。年の初めに思いを馳せたのは祝宴(セレブレイション)という事柄です。

ルカ福音書15章には失われたのが見出された時に天上で開かれる盛大な祝宴について3度も記されています。特

『Can you celebrate?』〜祝宴への招き

に、番目の放蕩息子のたとえには印象的です。自分の帰るべき場所(関係)に気づきそこに戻つてゆくこと。遠くから息子の存在に気づき、走り寄りて抱き留めてゆく父親の姿の中に、私たちは親なる神の深い愛を見ることができましょ

1996年の夏私はフィラデルフィアの James Hopital で400時間の臨床牧会教育を受けました。あることで深く落ち込んでいた私に、個人面談でスーパーヴァイザーの Dan Ward 師(牧師・詩人)はこう告げられました。「George needs to celebrate. George (讓治は讓治を喜び祝う必要がある)」。目からウロコが落ちるような体験でした。自分で自分を喜び祝う? セレブレイトする? そのような発想はそれまでの私には全くありませんでした。いや、気づかなかつただけなのかもしれませ

ん。声には扉を開く不思議な力があります。翌年帰国した時に流行っていたのが安室美奈美恵の『Can you celebrate?』であつたことも不思議なシンクロシティでした。私たちは自分を支える外からの存在是認の声を必要とします。イエスは受洗時に「つをを聴きました。あなたにわたしの愛する子、わたしに心に通う者(マルコ11)。これは神からの究極的な存在是認の声であり、「よし、行け! わたしはあなたと共にいる」という促しの声でした。イエスはその道の途上で繰り返す「この根源的な声に立ち返つたに違いありません。私たちも皆、この声に与るよう招か

れています。礼拝はキリストの祝宴です。過酷な現実が私たちを幾重にも取り巻いていたとしても、私たちは主日ごとに天の祝宴に招かれているのです。疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのよき来なさい。休ませよう(マタイ11:28)。この祝宴は終わりの日の天における祝宴の先取りであり前祝いです。それは私たちの播らぐことのない希望です。そこに与ることが出来る者は何と幸いです。ありがとうございます。Can you celebrate? 新しい一年も一緒にこの祝宴に与りたいのです。神さまの祝福が豊かにありますように。シャロー!

プロジェクト3・11 復興支援 北訪問プログラム報告

野口勝彦 (みのり教会牧師・元東日本大震災ルーテル教会教援派遣牧師)

11月4〜5日、「東北訪問プログラム」に同行しました。少ない参加者でしたが、深い交流の機会となりました。訪問1日目は仙台駅を出発し、石巻市の二子団地を訪問しました。この団地は敷地面積

19・4ヘクタール、市半島沿岸部で最大規模の被災者向け集団移転団地で、自己再建用135区画、復興公営住宅用237区画の計372区画が整備されました。その団地に住む元支援先のお宅を訪問し、現在の生活などのお話をお伺いしました。ちょうど大川小学校裁判の判決が確定した時点で、その判決が新たな地域の分断を生み出している心配する声もありました。その後、ワカメ養殖のお宅を訪問し、震災後再開したペンションに宿泊しました。

2日目は、最大の支援先であつた東日本大震災復興記念前浜マリセンターを訪問、現在の活用状況などの話をお伺いしました。現在は市の施設ですが、地域で運営がなされ、地域以外の団体も利用するなど多彩な交流がなされています。また、この日は偶然にも「世界津波の日」。本来は休館であつた気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館が特別開館していたので、初めて訪問しました。そこで私たちは震災発生から10日後に避難所で行われた卒業式の衝撃的な映像に出会いました。その後、震災遺構として整備が進

む南三陸の防災対策庁舎と被災した学校で最大の犠牲者74人を出した大川小学校を訪問しました。多数の訪問者がいました。来訪者の中には物見遊山の人も見られ、今後に課題を残すことになりそうに感じました。その後、1地区最大の犠牲者400名を出した石巻市南浜地区を見下ろす日和山に着いた頃にはすっかり日も暮れ、震災遺構となる門脇小学校、来年度末を目途に整備される国営追悼・祈念公園建設地を確認し、それぞれ帰路に就きました。



復興公営住宅二子団地にて、つるしびな・布草履支援の方々を訪問

賛美歌と私たち

⑦教会讃美歌



小澤周平 (名古屋めぐみ教会牧師)

1955年のJELC総会で『讃美歌(1954年版)』の使用が話題に出ています。私たちの教会は「サビカ」の伝統を継承しました。同時に、ルーテル教会の礼拝の伝統を、歌集において補つてきました。例えば、現在、私たちの教会の主日礼拝では、教会暦に合わせて賛美歌を選ぶのが一般的です。季節の花と、聖書の布の色と、時季にあつた賛美歌を、重ねて思い出す人も多いでしょう。ただ、この伝統は、1950年代のJELCにおいてはそれほど定着していませんでした。

このように時代背景の中、1962年に『教会学校さびか』(聖文舎)が発行。3年掛かりで編集。式文台本、教会暦に沿った配列、口語調の歌集です。

同時期、主日礼拝用の歌集編集も始まりました。十数年の時を経て1974年、『教会讃美歌』(聖文舎)発行。歌集の序文などには、ルーテル教会の伝統的な礼拝形式に調和した典礼の道具としての期待が記されます。加えて、ドイツや北欧の賛美歌あるいは礼拝以外のキャンプや家庭集會等で用いる賛美歌を紹介する試みも語られます。また、これらの歌集は、日本のキリスト教会全体にルーテル教会の伝統を紹介することも目標としていました。

当時の教会員にとっては、礼拝観について大きな変化を求められたことも確かです。戸惑いの声の記録も残っています。それでも結果的には、JELCの多くの教会がこれらの新しい歌集を用いるようになりました。同時に、各個教会において、教会暦などの伝統が具体性をもつて礼拝に取り込まれたことでしょう。



この時代を振り返ると、『讃美歌(1954年版)』も『教会讃美歌』も当時としてはかなりのチャレンジでした。様々な葛藤と祈りの中で先輩方が変化を受け入れていたことが分かります。それ故、今の私たちの信仰生活があるのです。もちろん、戸惑いの声は当然のこと。そこで、今回は、歌集が生まれる必要性について考えてみましょう。(続く)

第54回教職神学セミナーのご案内 第54回目を迎える教職神学セミナー「日本ルーテル神学校主催では例年、日本福音ルーテル教会はじめルーテル諸教団の教職者が集い、自己研鑽と相互の交わりの機会となっております。 今回のテーマは、明日の教会のために「わたしたちの教会神学・神学教育。私たちの教会は、教をたどり得ているのか。苦悩する人々に福音を届けているのか。教会の厳しい現実に耐え、主の働きを守っているのか。今日の宣教と神学、また教会内外の急速な環境変化をまなびながら、私たちの教会と教会形成の基軸を確かめること、そして新しい時代を見据えた明日の教会を思い描きたいと考えています。 特別講演として、西原廉太郎(日本聖公会司祭・立教大学教授)の聖公会からみたルーテル教会(仮題)、また橋爪大三郎氏(東京工業大学名誉教授)の現代世界と宗教者の役割(仮題)を予定しております。そのほか、講義や参加者からの発題などを通して皆で考え、ディスカッションをして参りたいと考えております。 日程は、2020年2月10日(月)〜12日(水)の3日間。会場は日本ルーテル神学校です。お申し込みにつきましては、各教会へ送付いたします。セミナーのご案内に従って、お申し込みください。

カンボジア宣教に向けて

浅野直樹 Sr.
(世界宣教主事・
市ヶ谷教会牧師)

日本福音ルーテル教会 (JELC) が宣教方策「パワーミッション21 (通称PM21)」を手がけたのは2002年。その中のひとつに「アジア宣教への参与」がありました。国内宣教に専念するあまり、過去17年間

これが後回しになったのは事実ですが、あきらめなければあります。ようやく今、機が熟してきたと言いたいと思います。

世界宣教委員会から派遣され10月20日から1週間、アジア宣教の候補地カンボジアを視察しました。JELCにもできるアジア宣教を探るためです。アジア宣教といつても、見知らぬ土地に教会を新たに建てるというような計画ではありません。既にある現地の教会をJELCが宣教サポートすることが主眼です。

カンボジアルーテル教会の歴史は新しく、2010年に誕生しま

した。シンガポールの教会が手がけ、それを海外諸教会が支援して発足しました。ここで重要なのは、そうした複数の海外ルーテル教会のネットワークが出来たことです。そのハブ(軸)になったのが世界ルーテル連盟(LWF)のメコンミッションフォーラム(MMF)です。カンボジア宣教を自転車にたとえらなれば、わたしたちもこの軸につながり、一本のスポークになろうというわけです。

キリスト教宣教をふたつにまとめると、福音の宣べ伝えとキリストの手足になることです。伝道と奉仕、もしくは言葉とわざと言ひ替えることもできます。現地のルーテル教会は、仏教伝統の根強い地域に溶け込もうと、教育や農業支援などの社会支援活動をしながら人々を礼拝に招いています。こうした働きを海外諸教会と連携しながら、JELCもサポートしていけるのではないかと考えます。一度だけでなく継続できることが重要ですので、牧師のみならず信徒も参加できたらと思います。

「たとえ大きく豊かな教会でも、他の教会の賜

メコン・ミッション・フォーラム報告

森田哲史
(新霊山教会牧師)

2019年11月19〜21日にタイのバンコクで行われたメコン・ミッション・フォーラム(以下、MMF)に、日本福音ルーテル教会(以下、JELC)から私と関野和寛牧師(東京教会牧師・世界宣教委員)とで参加いたしました。

MMFは、メコン川流域の

物が必要としない教会はありません。たとえ小さく貧しい教会でも、他の教会を豊かにできない教会はありません。これは1978年からLWF総会議長を務めたタンザニアのキビラ監督の言葉です。この声はLWFで今もこだましています。小さな教会の私たちにも、なにかできることがあるはずですよ。



各国(タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、ラオスのルーテル教会および関連諸施設)と、それらを支援する世界中の教会が一堂に会し、現地の宣教や支援についての情報を共有し、さらなる発展を目指す会議体です。MMFにより、支援元の教会が各国の状況を把握し、支援の優先順位に役立てたり、支援の重複を避け、相互補完的な支援を調整したりすることが出来ます。会議の中では各国から「牧師と信徒指導者のための指導者養成」「青年育成」

「地域の教会の建設支援」「牧師・神学者の派遣・交換プログラム」などのニーズが挙げられていました。

会議は英語で行われ、英語力の稚拙な私は、すべての内容を正確に理解できなかったわけはありませんが、各国の代表者の情熱を感じました。中には私より若く、今年按手を受けたというカンボジアの牧師もおり、大変刺激を受けました。

残念だったのは、各国からの報告の中にJELCからの報告がなかったことです。現状ではJELCからMMF

に拠出されている年間1500ドル以外の支援はされていません(各個教会や個人での支援はあるかと存じます)。JELCでは2018年の全国総会において、今後アジア宣教に力を入れていくことが示されました。支援を具現化していくために、アジア宣教について「理解いただき、お祈りいただき、お慰めいただき」が必要とす。アジアの買として共に歩んでいきたいと思います。次年度のMMFは、11月17〜19日カンボジアのプノン

プにて開催され予定です。

聖書日課セミナー「読者の集い」報告

乾和雄 (日本福音ルーテル教会定年教師・神戸東教会教会委員)

『家庭礼拝のための聖書日課』も29年目を迎えます。そして年に1回「聖書日課セミナー(読者の集い)」も開催されてきました。2019年の「聖書日課セミナー」は10月21〜23日、神戸市の「しあわせの村」で開催され、全国から43名の参加がありました。講師として、ルカによる福音書や使徒言行録に造詣の深い李明生先生(JELC田園調

布教会牧師・写真)をお招きし、聖書が正典化された経緯、写本からオリジナルの聖書が復元されてきた歩み、ルカによる福音書の構成とその内容等について、とても丁寧にして下さいました。

以下、参加者の感想の一部です。

○ルカによる福音書は、物語りとしても構成が計算しつくされ、「神理解」が容易になるように書かれていることを知らされました。また、社会的に弱い立場の人々への視点に気づかされました。

○最初に福音を受け取った人々の思い、何を大事にしてきたのか、何を讀みとつたらよいかを、あらためて教えていただきました。ほんとうに嬉しかったです。ほんとうに嬉しそうにお話をされる李先生のご様子を拝見しているだけで幸せな気分になりました。引き続き、使徒言行録の説き明かしを期待しています。

○ルカによる福音書を、

セミナーに並行して「聖書日課執筆者研修会」がもたれ、4月から新たに「執筆いただく2名の先生方が参加して下さいました。学びの時だけではなく楽しいひとときも。ソプラノ歌手の池上彩香さん(西日本福音ルーテル新田教会員)による賛美の時もあり、アフロ・アメリカン・スピリチュアルなど、心に響く演奏を聴くことができました。

2020年は10月19日から2泊3日の予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。

感謝します。

2020年3月末まで

李明生先生(JELC田園調

布教会牧師・写真)をお招きし、聖書が正典化された経緯、写本からオリジナルの聖書が復元されてきた歩み、ルカによる福音書の構成とその内容等について、とても丁寧にして下さいました。

以下、参加者の感想の一部です。

○ルカによる福音書は、

2020年3月末まで

tkikyaya@jelc.or.jp



63mmです。(断裁の関係でイラストの大きさは縦83mm×横59mmとなります。)

イラストは、縦×横の倍率があつていれば書きやすい大きさで結構です。

完成したイラストはデータでお送りいただいても、郵送でもかまいません。

部門委員会で検討の上、連絡いたします。採用となった方には、お一人6〜8枚のイラストを担当していただきます。11月中旬に担当箇所依頼をさせていただきます。2021年2月中旬提出となります。

(みこば)

・マタイ2:11 彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。

・ヨハネ20:19 あなたがたに平和があるように

・ルカ1:38 「お言葉とおり、この身に成りますように。」

・マルコ1:21 イエスは、安息日に会堂に入つて教え始められた。

※イラストは聖書の一場面であったり、イメージ(羊とイエス様など)であったり、その聖書箇所からイメージされる日常生活の一場面(おばあさんの手を引く子どもなど)であったり、子どもに親しみのあるイメージで自由に描いてください。

締切 2020年3月末まで

応募先・お問合せ TNG子ども部門 池谷孝史

〒812-0028 福岡市博多区須崎町3-9

tkikyaya@jelc.or.jp

「諏訪教会の宣教100年」の星野幸一牧師の笑顔

垣内恵子(諏訪教会)

星野幸一牧師の召天を聞き、思い出すのは諏訪に赴任しての最初の説教である。一わたしはトラブルを解決するために来たのではない。み言葉を伝えるために来たのである。ときつぱり述べる星野先生。これからの牧会を象徴するひとことであつた。



2003年2月諏訪教会にて

星野先生は2002年から2007年まで甲府と諏訪の2教会牧会をつとめてくださった。

星野先生と過ごした年月の中でも「諏訪教会の宣教100年」の日を共に迎えることができたのは何より大きな喜びであつた。

1905年にフィンランドの宣教師によつて開かれた諏訪教会。2005年は宣教100年の記念祭を計画。いよいよその日が来た。2005年11月23日。全国の教会関係の方々120名の来賓出席者を得て、諏訪オーケストラの弦楽器に合わせ、小さな諏訪教会は喜びと熱気であふれた。「宣教100年にあたる年に諏訪教会の牧師で

いることの幸い」と率直に喜んでくださったあの日の笑顔が忘れられない。文集『諏訪教会100年の歩み』に幸一牧師は次のように記す。―草木は1年で育つ。材木にする木は50年かかる。さて人を育てるには何年かかるか。人を育てるには100年かかる―と語る星野先生は地味だがやさしく真心の人だつた。また知子夫人は―聖書には長い間には教会の分裂、混乱した時代があつた。諏訪教会も100年の間には語りつくせない様々なことがあつたであろう。しかし群は残つて今100周年を迎えようとしている。―と、一度しかない100年の節目に出会えた幸いと述べてくださった。星野先生のみ言葉を語るとき深い喜びと苦しみを私は忘れない。

第28期 第5回常議員会報告

事務局長 滝田浩之

11月11〜13日、ルーテル市ヶ谷センターにて第28期第5回本教会常議員会が開催されました。以下、主な協議事項について報告いたします。

(1) ハラスメント防止規定

第28期より本教会常議員会で学びを積み上げ準備してきました、「ハラスメント防止規定」が承認されました。規定を確認して頂き、ハラスメントについて理解を深め、誰もが「安全で安心できる」教会造りをしていきます。

(2) 市ヶ谷会館大型修繕計画の件

市ヶ谷会館の耐震工事を含む大型修繕計画について、市ヶ谷将来検討委員会から経過報告と、概算見積もり、また工事工程表が本教会常議員会に提出されました。3階の宿坊部分のユニットバス化なども計画されていることが報告されました。今後、11月末に完了する詳細設計をもとに、詳細見積もりを進め、工事費の圧縮を行う作業を年明けの1月末までに終え、最終的な工事内容を確定していきます。

並行して銀行との借入交渉を行い、2月の本教会常議員会までに5月全国総会に提案する内容を固めていくこととなります。

(3) 第7次総合方策

9月の宣教会議、その後の人事委員会、社会委員会等の意見を踏まえ、形での「第7次総合方策」

の試案が提案されました。今後、各教区常議員会の意見を伺いながら、2月の本教会常議員会に提案され、5月の総会に上程していくこととなります。ポスト宗教改革500年を歩み出す教会として、改めて「ルター派の教会を形成する」という明確な目標を設定し、この「ルター派の教会」の中身を、広範囲な角度から検証するものとなつていきます。これまで取り組んできた、ルター派としての大切な信仰理解をきちんと継承すること、同時に、現代における「ルター派の役割」を包括しつつ、今後8年間の教会の歩むべき方向性を確認するものになることを目指しています。これまで課題とされてきた「宣教力の低下」「牧会力の低下」と理

解し、「牧会力(分ち合う力)」の回復を目指すために、今、手をつけていかななくてはならないことを「方策実行委員会」を中心に進めていくこととなります。

(4) 総会日程と負担金の件

次年度の全国総会は、2020年4月29日(水)〜5月1日(金)に実施することを改めて確認しました。総会負担金は1人あたり3万5000円となります。東教区を中心とした総会準備委員も選出されました。今からご予定ください。

なお第5回本教会常議員会の詳細については、後日送付される議事録にて確認ください。

訂正
2019年11月号4面「ルーテル学院100周年記念大会のご案内」文中、3力所の誤りがありました。本文2段目後ろから5行目「浦賀へてるの家は」から2行目「日高にある浦賀へてるの家は」は「浦賀へてるの家は」3段目の行目「浦賀へてるの家は」を「浦賀へてるの家は」に訂正いたします。

教皇ミサに出席して

古屋四朗

JELC常議員・日吉教会

11月25日 東京ドームで教皇ミサにカトリック教会の招待を受けて、私も出席する機会が与えられました。5万人もの礼拝はめつたに体験できるものではありません。素晴らしい機会を与えられたことを感謝しています。教皇ミサで番の印象に残つたのは、全国から集ま

たいと思います。各教会には、この規定に沿った「パンフレット」もお送りいたします。相談窓口は、フェミニストカウンセリング東京(FC東京)に依頼しています。FC東京との業務委託契約の会が開催されました。以下、主な協議事項について報告いたします。

第28期より本教会常議員会で学びを積み上げ準備してきました、「ハラスメント防止規定」が承認されました。規定を確認して頂き、ハラスメントについて理解を深め、誰もが「安全で安心できる」教会造りをしていきます。

市ヶ谷会館の耐震工事を含む大型修繕計画について、市ヶ谷将来検討委員会から経過報告と、概算見積もり、また工事工程表が本教会常議員会に提出されました。3階の宿坊部分のユニットバス化なども計画されていることが報告されました。今後、11月末に完了する詳細設計をもとに、詳細見積もりを進め、工事費の圧縮を行う作業を年明けの1月末までに終え、最終的な工事内容を確定していきます。

並行して銀行との借入交渉を行い、2月の本教会常議員会までに5月全国総会に提案する内容を固めていくこととなります。

たカトリック教会の信徒の皆さんの喜びに満ちた表情でした。ミサの前に教皇がアリーナを巡回するためにオープンカーで登場すると、ドーム全体が大きな歓声に包まれました。それは、差し出された幼児に教皇が祝福のキスをすると、最高潮になりました。これは「イエスに触れていたために、人々は乳飲み子までも連れてきた」という福音書の記事を思い出させました。これが「フング」だったのか、予定だったのか分かりませんが、この日の行事に欠かせない風景

者の態度が益々自己中心になつていく時代に、いこの福音を告げるといふキリスト者の役割は、教派を超えて共有すべきで感ずました。今回の教皇ミサには、キリスト教各派が招待されましたが、ルーテル教会の招待枠は多く、伝統的教派として重視されているのでしょうか。そしてキリスト教だけでなく、仏教や新宗教の指導者も招かれて、参加していました。日本のキリスト者は少ないけれど、社会の中で少なすぎても弱すぎもしないということではないでしょうか。

2020年度日本福音ルーテル教会会議日程(主な予定のみ)

- 1月16日(木) 教師試験(市ヶ谷)
 - 1月17日(金) 任用試験(市ヶ谷)
 - 2月17日(月) 19日(水) 28.6常議員会(市ヶ谷)
 - 2月23日(日) 神学校の夕べ(宣教百年記念会堂)
 - 3月1日(日) 教職授任按手式(宣教百年記念会堂)
 - 3月2日(月) 神学教育委員会(市ヶ谷)
 - 3月4日(水) 新任教師研修会(市ヶ谷)
 - 3月13日(金) ルーテル学院大・日本ルーテル神学校卒業式(三鷹)
 - 4月1日(水) ルーテル学院大・日本ルーテル神学校入学式(三鷹)
 - 4月29日(水) 5月1日(金) 第29回全国総会
 - 6月15日(月) 17日(水) 29.1常議員会(市ヶ谷)
 - 8月25日(火) 26日(水) 29.2常議員会(市ヶ谷)
 - 8月28日(金) 29日(土) 29.3常議員会(市ヶ谷)
 - 9月23日(水) 24日(木) 宣教会議(市ヶ谷)
 - 9月30日(水) 教師試験委員会(市ヶ谷)
 - 11月16日(月) 18日(水) 29.4常議員会(市ヶ谷)
- ※会議日程の詳細については、JELCニュースブログ(jelc-news.blogspot.com)をご覧ください。

新J3ジェシカ・ヒルさんを迎えて